

4. 携帯電話を中心としたメディアの活用

トラブルへの入り口は携帯電話を持たせることではじまります

社会に急速に普及している携帯電話は、それ自体たいへん利便性の高い道具です。しかし、その使用には、大きな問題も存在していることを子どもと一緒に考えてみましょう。

本当に必要な
のか



どんなトラブルが
あるのか



使用する上で
の「ルール」は
何か

携帯電話を子どもに持たせる必要が本当にあるのでしょうか？

- ・子どもの理屈に負けてはいませんか？
- ・子どもに携帯電話を使用させる目的は何でしょうか？
- ・持たせることで、生活の「安全」が本当に確保されるのでしょうか？
- ・携帯電話が、大事な人間形成期に悪い影響を与えていないのでしょうか？



携帯電話を与えられるのは保護者だけです。責任を持ちましょう。

どんなトラブルがおきているのでしょうか？ トラブルは家庭の責任です。

< 学 校 で >

- ①メールのやりとりをしたりするなど、授業に集中できないこと。
- ②隠して持ってきて友達にみせ、興味を誘発させることがあること。
- ③紛失や盗難で個人情報流出すること。

登校時に親に預ける等、子どもが家に置いて登校したことを確認してください

< 交友関係で >

- ①携帯電話を所有していることで、いつでも呼び出しが可能になるため、夜遊びや外泊が増える傾向にあり、これが家出に発展したりすること。
- ②メールや掲示板への書き込みによる誹謗中傷でいじめやトラブルにつながることもある。
- ③有害情報を入手したり、利用したりすることがある。

< 陥りやすい罠 >

- ①携帯電話から「出会い系サイト」に接続したために、ストーカー行為、嫌がらせ、恐喝、誘拐、殺人などのトラブルに巻き込まれること。
- ②接続サイトによっては、不当な通信料の請求を受けるケースが多発していること。

< 個人情報保護についての問題 >

- ①携帯電話を利用して勝手に他人の写真をメールで送付したり、掲示板に無断で実名を書き込んだりする問題があること。
- ②個人情報をむやみに他人に教えてしまう問題があること。
- ③安易なサイトへのアクセスで、自分の情報が漏れ、事件に発展する危険性があること。

我が家のルールをつくきましょう！

親子で十分話し合い、お互いに責任を持ち、「ルール」を守り、携帯電話を使うことで取り返しのつかないトラブルに巻き込まれないようにしましょう。

学校の規則をしっかりと確認しましょう

